

輸出事業計画

※申請者名：AOMORI サステナブル ブランド協議会

品目：りんご酢・りんごジュース・スープ・茶・飲むヨーグルト

1. 輸出における現状と課題

【現状】

- 青森県は、東北地方および本州の最北端に位置し、西は日本海、東は太平洋、北は津軽海峡と、南を除く三方が海に囲まれており、白神山地や八甲田山、奥羽山脈といった、海・山その豊かな自然に恵まれている。豊かな自然が育んだ品質の高い農水産品があり、全国でも有数の農業産出県で、特にりんごは世界中に輸出されているが、りんご以外にも、りんご加工品、野菜、畜産物等多くの素晴らしい食品があることは十分に伝えられていない。それぞれの強みや独自性を持って海外展開に取り組む企業が連携し、そうした青森の魅力を世界中の人にPRし、青森県全体の持続可能な経済、農水産業の全体の発展と経済活動に貢献し、次の世代に引き継ぐ、持続可能な高付加価値のブランド構築を目的とし、「AOMORI サステナブル ブランド協議会」を設立した。
- 本協議会では「おいしく、手軽にサステナブルで健康な毎日を青森から世界中のお客様に届ける」というテーマを設定。

【課題】

＜販売＞

- ◆ 当協議会の商品が青森県産の「簡単・美味しい・健康で持続可能・環境に配慮している事業者」の商品であると訴求していくためのツールがない。
- ◆ 青森県自体の特徴や魅力、原料へのこだわり、環境配慮への取組等を海外の方に直接伝える機会を作ること、他の事業者の商品との差別化要素を訴求する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

＜販売＞

- ◆ 「AOMORI Sustainable Product」のロゴ作成・商標登録出願
 - ・ 作成したロゴを基に協議会内で共通で利用できるパッケージデザインを制作。
- ◆ 国内外バイヤーとの商談
 - ・ GFP・ジェトロ・中小機構・青森県・その他自治体等が実施するオンライン・リアル商談会には継続的に参加。
- ◆ 海外イベントの開催
 - ・ 米国（ロサンゼルス・ホノルル・ポートランド・ボストンを想定）の実店舗でサンプリング及びプロモーションを実施。
 - ・ 令和7年度以降、既存取引のある米国西海岸、ホノルル以外に、米国中西部、東河岸の新規販路拡大のため、プロモーション、バイヤー商談に取り組む。
- ◆ 現地メディア・インフルエンサー等による宣伝広告活動
 - ・ ホノルルのラジオ局のラジオにオンライン・リアルで出演し、ブランドPR及び地域の魅力を発信。
- ◆ 多言語化広報物の作成
 - ・ 日本語・英語・中国語の三か国語でオリジナルブランドロゴ入りPOP、ポスター、バナー、テーブルクロス、パンフレット、プロモーション動画を作成。

輸出事業計画

※申請者名：AOMORI サステイナブル ブランド協議会

品目：りんご酢・りんごジュース・スープ・茶・飲むヨーグルト

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

【計画の策定(P)】

会員企業及び現地小売店・レストラン・ディストリビューター等からの現地情報/規制情報や現地訪問によるニーズ把握に基づき、輸出事業計画を検討

【事業の実施(D)】

計画に基づき、海外でのイベント・バイヤー招聘の実施や、海外展示会への出展等により輸出を実施

【改善(A)】

評価・検証(C)のフィードバック等を通じて現地消費者の求める商品製造・改善に着手

【評価・検証(C)】

輸出の進捗状況について、商社・現地小売店・レストランや現地訪問で把握した販売状況等の評価・アドバイスを踏まえ、必要に応じて計画を見直し

4. 輸出目標額

		現状	目標年
		(令和4年度)	(令和8年度)
りんご酢	輸出額(千円)	1,500	10,800
	輸出量(kl)	1,350	9,720
	輸出先国	米国	米国
りんごジュース	輸出額(千円)	0	41,040
	輸出量(kl)	-	162,518
	輸出先国	-	米国
スープ	輸出額(千円)	0	6,480
	輸出量(kg)	-	6,480
	輸出先国	-	米国
茶	輸出額(千円)	500	9,900
	輸出量(kg)	15	283
	輸出先国	米国	米国
飲むヨーグルト	輸出額(千円)	2,200	15,840
	輸出量(kg)	4,000	28,800
	輸出先国	米国	米国